

令和2年 8月25日

保護者様

吉野ヶ里町立東脊振小学校  
校長 林 寛

## 2学期以降の「新型コロナウイルス感染症」と「熱中症」の予防対策等について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動についてご協力をいただきありがとうございます。

さて2学期を迎え、子供たちも元気に登校してきました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、引き続き本校でも、マスクの着用、手洗いや手指の消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保、3密を避けるなどに取り組んでいく所存です。あわせて、暑さが残るこの時期は特に、熱中症予防にも努めていく必要があります。

そこで、2学期以降の新型コロナウイルス感染症と熱中症の予防対策として、下記のような対応をしておりますので、保護者様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 記

- 各家庭での毎朝の検温は継続して実施をお願いします。発熱やかぜの症状がある場合は、無理をさせず自宅で休養させてください（学校の教職員も同様）。
- 給食時間は、前後の手洗いを徹底しながら、グループを作らず、静かに前向きで食事をさせ、飛沫感染や接触感染の防止に努めます。
- 図書室やトイレなどのみんなが使う場所では、ソーシャルディスタンスの確保や手洗いの励行に努めます。
- 校舎内での活動はマスク着用を基本としますが、登下校中や外での活動（休み時間や体育、校外学習等）は、外であることと気温上昇による熱中症予防の点から、マスクの着用はしなくてもよいとします。登下校時を含めて人との距離を考えながら活動するという指導を続けます。
- 屋内では、引き続きエアコンを使用しながら熱中症対策をしていきます。ただし、窓は閉め切らず、各窓の一部を開けながら授業中の換気に努めます（本校のエアコン使用時は換気扇が同時に稼働する仕組みになっています）。
- 音楽における合唱や管楽器演奏、家庭科における調理実習、体育における密集する運動や組み合ったり接触したりする運動については、換気や身体的距離の確保、手洗いの徹底などの対策を取りながら、実施をすすめます。
- 毎日、暑さ指数（WBGT）を確認し、警戒レベルをこえる場合は、外での活動時間（体育の時間や休み時間を含む）を短くしたり、避けたりします。
- マスクの着用により、のどの渇きを感じにくくなったり、汗をかきやすくなったりするため、毎日、帽子や必要な大きさの水筒、タオルを持たせるようにしてください（外で活動する際には水筒を持たせ、活動の合間にこまめに水分補給をするよう指導します）。

※なお、お子様や同居する家族に感染が疑われる症状等が見られたら、速やかにかかりつけの病院や佐賀中部保健福祉事務所に相談するとともに登校を控え、家族等がPCR検査を受けることになった場合も含め、学校にも連絡いただくようお願いいたします。